

こころほく・人と生きもの・支えあう会

グループ代表 新堂泰江 〒222-0004 神奈川県横浜市港北区大曽根台 22-14 ☎045-543-5124 ✉shinshin720@hotmail.co.jp

★★★ 目次 ★★★

- ⇒ 「ブラン・マイケルへご支援のお願い」 K.F. p.1～2
- ⇒ 「大倉山にいる鳥たち」 舟本和子・清水晴雄 / 港北区猫ボランティア連絡会報告 p.2
- ⇒ 「梅林の猫さんたち」 池田真有美 p.3
- ⇒ 管理人日誌 新堂泰江 p.3
- ⇒ 「活動の足跡」「会計報告とお礼」 編集後記 p.4



ブラン・マイケルへご支援のお願い

K.F.

私達が日ごろから TNR や子猫の里親さん探しでお世話になっている病院には、怪我や病気の猫たちが何匹も入院しています。みな外で暮らしていた、飼い主のいない猫たちです。

【マイケル君のこと】

今年3月、自宅付近の猫たちを TNR していた方が設置した捕獲器に、背中にティッシュペーパーのようなものが貼りついている猫が入りました。広い範囲で毛が抜けており、異常があることは一目瞭然でした。病院で診察したところ、次のようなことが分かりました



- ・何かの薬品をかけられた「化学熱傷」の可能性が高い
- ・傷は広範囲で損傷が深い部分と浅い部分がある
- ・一部は壊死しており、傷を負ってから日数が経っている

早速皮膚再生のための湿潤療法（※1）を開始しましたが、こんな傷を負ったまま、屋外の過酷な環境に耐えてきたことで、マイケル君の体力や免疫力は尽き果てる寸前でした。治るスピードが広がるスピードに追いつかず、傷が広がってしまいました。

※1 湿潤療法：創傷（特に擦過傷）や熱傷、褥瘡その他の皮膚潰瘍に対し、従来のガーゼを当て消毒薬による消毒をするという治療から、消毒をせず、創傷部を乾燥させず、ガーゼの代わりに創傷被覆材（ドレッシングフォーム）を使用する、従来とは異なる治療法。

治療には時間がかかりそう、と先生からお聞きしブログで呼びかけたところ、すぐに温かいご支援を頂きました。そのおかげで高機能の創傷被覆材を十分な量使った治療を開始。5月には回復の兆しが見え始め、少しずつ新しい皮膚の再生が始まりました。

ところが梅雨時になるとマイケル君の体調が不安定になり、食欲にも波が出て来ました。あつという間に傷にも影響がおよび、再生した部分が急激に後退してしまいました。7月末に人口皮膚を使った手術を行

ったところ9月になってその効果がようやく始め、本当に少しずつですが新しい皮膚が再生してきました。ただ傷自体がとても大きいので完治するまでにはもう少し時間が必要です。

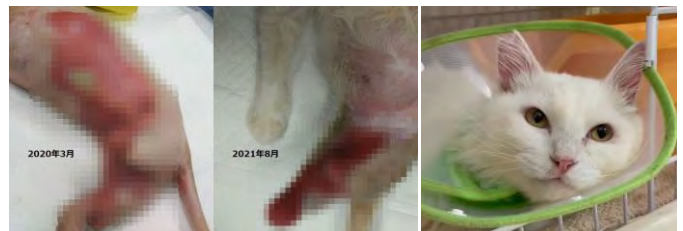
証拠はありませんが、悪意を持った人間による虐待ではないかと思えます。ティッシュは、マイケル君の傷を見た人が包帯代わりに置いたのでしょう。捕獲器に入らなかったら、こんなひどい傷の上に薄いティッシュをかぶせただけで、そのまま死んでしまっていたかもしれません。

マイケル君は最初の時だけ小さくシャーと言いましたがすぐ警戒心を解いてくれました。治療中は特別なオヤツが貰えてチヤホヤしてもらえることをすぐに覚え、治療前も、治療が終わっても治療台の上に乗りがります。目が合うと飛んできて「撫でて」と頭突きしてくる愛嬌たっぷりの猫です。犯人はそんな人懐っこいマイケル君を狙って薬品をかけたのでしょう。信頼して近寄って行った人間に裏切られたマイケル君。体はダメージを受けましたが純真無垢な心が無傷だったことは不幸中の幸いでした。



【ブラン君のこと】

ブラン君は2020年2月に事故に遭い、胸からお腹、足の皮膚をほとんど失いました。両足は骨折と壊死のため股関節の少し下から切断となりました。これまでに治療費のご支援をたくさんいただき治療を続けて参りました。応援して下さる皆様に改めて深く感謝申し上げます。



入院から1年半が経ち、皆様からのご支援と病院の先生・スタッフさんのおかげで、傷は大分小さくなりました。胸から下腹部にかけての皮膚再生は完了、しっかりとしたピンクの肌を見ることが出来ます。ただ足の皮膚再生が想像以上に遅く、なかなか先が見えません。2021年からは新しい再生医療である「PRP療法」※2にも挑戦しています。

※2 PRP 療法: "自分で自分を治す力 (自己治癒力)" をサポートする治療法です。特殊な技術を用いて血液中の血小板が多く含まれる部分のみを抽出し、自己 PRP (多血小板血漿) を作成します。この PRP 中には成長因子が豊富に含まれます。これを自分の身体の傷んだ部分に注射することにより、その部分の組織の修復が促進、"早期治癒"や"疼痛の軽減"効果をもたらします。

年明けから春にかけて 2 回 PRP 療法を行ったところ、少し時間はかかりましたが 5 月にはメキメキ驚くほどのスピードで足の皮膚が再生し始めました。みんなが待ちに待ったゴールが一瞬近づいたかに思えました。ところが、マイケル君と同じく梅雨に体調不良で食欲減退。せっかく再生した皮膚が 2 週間で半年前の状態に戻ってしまいました。7 月に再度 PRP 療法を行いました。まだ再生と呼べるような変化は起きていません。

【難しい皮膚再生治療を続けたい】

傷が小さかったら縫合や皮膚移植等の選択肢もありますが、ブラン君もマイケル君も傷が広範囲で深いため外科的な治療は難しく、「湿潤療法」という唯一の、そして最適な治療法で完治を目指しています。湿潤療法には「創傷被覆材」という専用の医薬品が欠かせないのですがこれが大変高価で、しかも毎日 2 匹分です。すぐに無くなってしまいます。その他にも専用のガーゼやテープ、痛み止めと抗生剤も欠かせません。

500 日以上も入院・治療を頑張っているブラン君のために、そして、虐待されても人間への信頼を失わずにいてくれるマイケル君のために、なんとしても治療を続けて 2 匹とも完治・退院させてあげたい。出来れば優しい方のおうちの子として、辛い日々で失われた幸せを取り戻してほしい。そんな夢のような希望を持ち続けています。

コロナ禍も収まるどころか一層感染者が増えている中、そしてすでに一度高額な治療費をご支援いただけており、改めてのお願いとなることは大変心苦しいのですが、ご無理のない範囲で構いませんので、2 匹の治療費・医薬品代をどうかご支援いただけないでしょうか。何卒よろしく



お願い申し上げます。

【ご支援方法のご案内】

●クレジットカードから

syncable (シンカブル)

<https://syncable.biz/campaign/1641/>

キャンペーン名

「皮膚再生中の猫たちへご支援お願いいたします！」

●銀行から

三菱東京 UFJ 銀行 大倉山支店

普通 0008270

ごほう・人と生きもの・支えあう会

※振込依頼人名の末尾に「BM」と追加いただければ幸いです。

●郵便局から

郵便振替 00270-6-54901

ごほう・人と生きもの・支えあう会

※通信欄もしくはメッセージ欄に「BM」と追加いただければ幸いです。



大倉山公園にいる鳥たち

ヒヨドリ: ピーヨピーヨと騒がしく鳴いている

ハシブトガラス: 額が出っ張り嘴が太い

ハシボソガラス: ハシブトガラスより小さく、スマート

コゲラ: スズメくらいの小さなキツツキ

観察: 舟本和子 撮影: 清水晴雄

シジュウガラ: 胸から腹を通る黒く太い線はネクタイのように見える

キジバト: ゼゼッポッポーを繰り返して鳴く

メジロ: 花の蜜が大好き

以下、新堂観察

ヒレンジャク: 北東アジアに生息、日本では冬に見られる 梅林隣接の東横神社側で 4 月に目撃

ウグイス: 3 月から 8 月上旬まで元気に鳴いている

ガビチョウ: 外来種でウグイスの生息を脅かすと言われるようだが大倉山では共存している 高々と色々な鳴き方をする

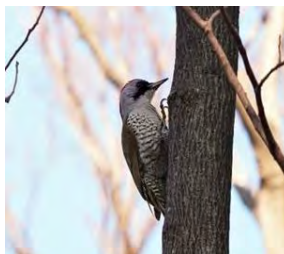
このほかカエルの産卵時にはアオサギ、オタマジャクシ目当てにカルガモがやってくる



メジロ



ヒレンジャク



コゲラ

2021 年度「港北区猫ボランティア連絡会」のご報告

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前号発行以降、「港北区猫ボランティア連絡会」は、開催されておきませんが、生活衛生課とは、相談すれば、迅速に対応して下さる等、必要に応じて、随時協働で活動しています。



私が大倉山梅林に居着く猫さんたちを知ったのは、今から五年くらい前でしょうか。ウォーキングで通りかかった梅林で、外猫さんたちに毎日ご飯をあげている新堂さんに、「地域の方々のご厚意で一代限りの命をここで過ごしている猫たちなのです、どうぞよろしくお願いします」と紹介されたのは、三匹の黒猫とザビ猫でした。

新堂さんと一緒に餌やりについて歩く犬のルカちゃんは耳が爛れて痒がる猫さんを一生懸命嘗めてお世話してあげる優しい子。ルカちゃんも保護施設からやってきたいい年の犬で、梅林の猫さんたちと仲良しの姿はとても微笑ましいものでした。

毎朝、ご飯を食べ終わると新堂さんルカちゃんと共にくっついてお宅まで帰る猫がいました。リードにつながれているわけでもなく、新堂さんが呼び



今の梅林の3匹：
プーちゃん、
クロリン、
たいぞうくん

寄せるわけでもないのに毎日、三人で一緒に帰ります。とても不思議な光景でした

この子、星くんは新堂さん宅に高齢で認知症になり引き取られた老猫の友人を、毎日お見舞いに行くのが日課とのこと。

窓越しに、その友人のカウ君が元気であることを確認すると、星くんはまた梅林に一人帰って行くそうです。星くんとカウ君は同じ野良猫同士、肩寄せ合い梅林でずっと生きてきたそうです。

雨の日、風の日には二人で梅林の近くのお宅のガレージに雨宿りさせてもらい、ご飯は二人で分け合っ、いつも一緒にいたそうです。でもカウ君が年を取り、道路をフラフラしたり餌場に戻れなくなったりと、事故に遭う心配を恐れ新堂さんが自宅に引き取ったのでした。

引き取られた仲間を忘れず、毎日無事な姿を見に行く星くんの姿がほのぼのと思い出されます。カウ君が天国に旅だった後、星くんも口にできた癌でやがて新堂さん宅に保護され、カウ君の待つ天国に召されたのは、そう遠くない日だったそうです。

今の梅林にはその星くんカウ君の仲間、後輩がいます。プーちゃん、クロリン、たいぞうくん、みんな一代限りの命ですが、今日も元気にご飯を食べ、梅林の片隅で生きています。彼らには大きな欲がありません、毎日雨露がしのげ、お腹がいっぱいになり、身体を休める処があれば文句は言いません。でも心はあります、仲間を思う気持ちや、自分を好きな人を見極める心。お世辞や、忖度など余計なことはしないけれど、私たちが忘れてしまったり、見失ってしまったりしたものを彼らはちゃんと分かっている、いつもそのビー玉のように大きな瞳で見つめています。

彼らのまっすぐで正直な生き方から、私たち人間も学ぶことがたくさんある気がします。そしていつの日か、ネコ語翻訳機が開発され、かれらの思いが聞ける日が、本当に待ち遠しいです。☺

管理人日誌 「安本 健さんを偲んで」

こうほく・人と生きもの・支えあう会を作るきっかけとなったのが、安本さんとの出会いでした。記憶が全く定かではありませんが2001年頃でしょうか、何かの市民アピールで国会への請願行動の帰りに、東横線の中で前・NPO法人ピースデポの共同代表山中悦子さんの紹介で安本健さんに初めて会いました。頭がよくてどこかぶっ飛んでいるような健さんでした。

すぐ次の日に大倉山のマルエツでフレンドリーな健さんと偶然会い、飼い主の居ない猫の世話をしているという共通点を発見したのでした。当時大倉山駅周辺は飼い主の居ない猫たちが沢山いて、焼き鳥屋さんの前に猫が集まり鳴いている光景は本当に悲しいものでした。とにかく不妊去勢手術をしてこれ以上増やさないようにしなければと手術のための捕獲に2人で取り組みました。全部で22頭を手術しました。

なかなか捕獲できない猫をつかまえるために大倉山動物病院の茂木知子先生も虫取り網の親分のような大きな網を持ってきて応援してくださいました。その後は健さんや近所の方とエサやりを分担して世話をしました。給餌の場所は個人のお宅に健さんがお願いして敷地内でのエサやりを許可していただきました。

猫の事は行政の応援、近隣の方々からのご理解などが不可欠であり、日々の世話だけでは猫が幸せにならないので、個人ではなく団体となる必要を感じて任意団体「こうほく・人と生きもの・支えあう会」を立ち上げました。

会の理念とも言える文言があるのですが、管理人は障害福祉に関わる身でありながら、猫の事やわずかに残された自然を守る事ばかりを考えていましたが、健さんと支えあう会ニューズレター編集長・後藤尚味さんが「年齢や障がいのあるなしにかかわらず」「元気な人

だけでなく」などのフレーズを提案してくれました。皆で団体を作ることがとても心強く感じた瞬間でした。そんな健さんが5月に突然亡くなりました。

健さんは転居する前は周囲の方々に経済的な面で援助を受けることがしばしばありました。友人たちが民生委員さんと同行していただき区役所や社協へ相談に行きましたが、ご本人や血縁者からの申し出でなければ受け止めることはできないと言われました。何よりもご本人が暮らしを立て直すための周囲の提案を受け入れることが出来ませんでした。

豊かな家庭のなかで成長して、物事を見極める力や感覚に優れた面があり、頭がとても良いのだけれども頭の中が散らかっているようにも見える健さんにとつての譲れない暮らしの美学があったのでしよう。管理人が出来た唯一の応援は2匹の猫たちを引き取る事だけでした。現在も管理人宅には健さんが東京に転居するときに引き取った2匹の猫たちのうち、「ググ」が健在です。ググは人間には全くなれませんが猫たちにはフレンドリーです。寄せ集めの保護猫たちの中で和を保つ原動力となっています。

支えあう会は強力な人たちが加わり、おおぜいの皆様の共感をいただきながら活動を続けていますが、最初のきっかけは安本健さんと巡り合ったことでした。心からご冥福をお祈りいたします。

大倉山公園自主管理人
新堂泰江





活動の足跡



(2020年)

●8月

- ・大豆戸町の具合の悪い猫の保護応援 未達成
- ・大倉山7丁目 高齢三毛猫保護 ボランティア宅
- ・大豆戸町 母猫 TNR のための捕獲応援 手術はいなば動物病院
- ・子猫 3匹は依頼者が保護する予定

●9月

- ・大曽根商店街近く キジ白 TNR 手術はラヴィ動物病院
- ・駒岡町の方より商業施設近くにいる成猫保護の相談あり。鶴見の団体が対応。
- ・大豆戸町 8月に手術した母猫が子猫 3匹を連れて現れ、捕獲機 2台貸し出し 相談者が子猫保護に成功して、知り合いへ譲渡
- ・新吉田の方より、病気の猫を保護したいと相談あり。餌やりしている住民が捕獲に反対し経過観察。

●10月

- ・大曽根商店街 キジのオス TNR 手術はバディどうぶつ病院

●11月

- ・大曽根商店街 黒猫オス TNR 手術はラヴィ動物病院

(2021年)

●4月

- ・大倉山7丁目 餌場に新顔のキジ猫 保護・去勢 バディ動物病院、過去の大腿骨骨折により足が不自由のためボランティア宅にて家猫修行（怖がりのため道は険しい）
- ・大倉山7丁目 ボランティアが給餌中に中学生くらいの人からの苦情 ボランティアが丁寧に経緯を説明、中学生は納得なさったが取り組み始めてから4年の経過があり、新住民も少なくないので経緯を記したポスターの掲示を港北区役所生活衛生課に相談、区が作成、掲示と回収について町会の承認を受ける

●5月

- ・大豆戸地域ケアプラザより錦が丘の高齢の方の施設入所に伴い、庭で給餌していた猫の保護の相談を受ける。2日かけて保護（約13歳、去勢済）バディ動物病院にてしばらく預かり、その後近隣の民生委員さんが引き取る
- ・大曽根台 妊娠中と思われる黒メス猫を保護。バディ動物病院で出産（4匹 その後1匹は死亡）母猫育児放棄のため病院（夜は院長宅）で授乳。避妊手術後母猫はリリース

●6月

- ・港北区に近い地域で毒物により猫が死亡（虐待の可能性）、同じ地域にいた別の猫も行方不明に。連絡をくださったボランティアさんと支えあう会で区役所・警察に情報提供。

●7月

- ・大田区で亡くなった方が餌やりしていた猫の相談。メール等で対応するもその後の経緯は不明。
- ・世田谷区より親子猫の TNR・保護について相談。メール対応し相談者が実行中。



会計報告とお礼

2020年8月～2021年7月まで



銀行振り込み、郵便振替、現金書留、お手渡しなどなどでいつもご寄付をいただき感謝申し上げます。今回は、プラン君への寄付を、本当に多くの皆様より頂きました。直接お礼を申し上げるべきところ、紙面でのご挨拶をお許しください。また、お忙しい中お手渡しくださる皆様にも重ねてお礼を申し上げます。

猫たちの餌代は原則ボランティアが各自負担していますので、ご寄付は猫たちの手術・治療、運搬、事務費などに使わせていただきます。誠にありがとうございます。

	収入	支出
2020/7月末繰越金	1,128,474	
寄付金 ※1	4,903,648	
会費	5,000	
市手術助成金	10,000	
雑収（グッズ売上）	2,007	
医療費 ※2		4,067,393
通信費		16,800
印刷費		560
雑費		24,368
保護猫委託費		41,500
事務用品費		919
小計	4,920,655	4,151,540
2021/7月末 残高	1,897,589	

※1 プラン君宛は 4,120,398 円。シンカブル経由での寄付金を含む。

※2 プラン君治療費は 3,481,395 円。医薬品購入費を含む。

ご寄付のお願い

継続的なご支援を、どうぞよろしくお願い致します。

【会費・寄付金振込先】

三菱東京UFJ銀行 大倉山支店 普通 0008270

郵便振替 00270-6-54901

こうほく・人と生きもの・支えあう会



支えあう会の寄付サイト
クレジットカードが使えます



家にある不要なブランド品
ダンボールに詰めて送って
寄付となります。

よろしくお
願い
します。



◎ 編集後記 ◎

コロナ禍でニューズレターの発行も一年ぶりとなってしまいました。こんな事態に集まって発送作業をする事が憚られたからです。ところが、巷では無観客とはいえ、世界から選手が集まり、オリンピック・パラリンピックは開催され、感染者数と借金が増えました。釈然としない気持ちを抱え、2021年の第1号発行です。ニューズレターのご意見・お問合わせは、編集担当:後藤尚味@gotonaomi419@gmail.com まで◎

BLOG : <http://sasaeaukai.blog17.fc2.com/> **WEB** : <http://sasaeaukai.web.fc2.com/>

●こうほく・人と生きもの・支えあう会とは…

港北区で生活する人々や動物にとってやさしい地域をつくることをめざしています。

具体的な活動内容は；①飼い主の居ない猫の不妊・去勢手術と保健衛生、②ファンドレイジング、③給餌活動、④啓発活動、⑤まちづくり、⑥広報。 当会では、随時会員を募集しています。